

# 学内のハラスメントに関するアンケートの結果報告書

2017年12月28日

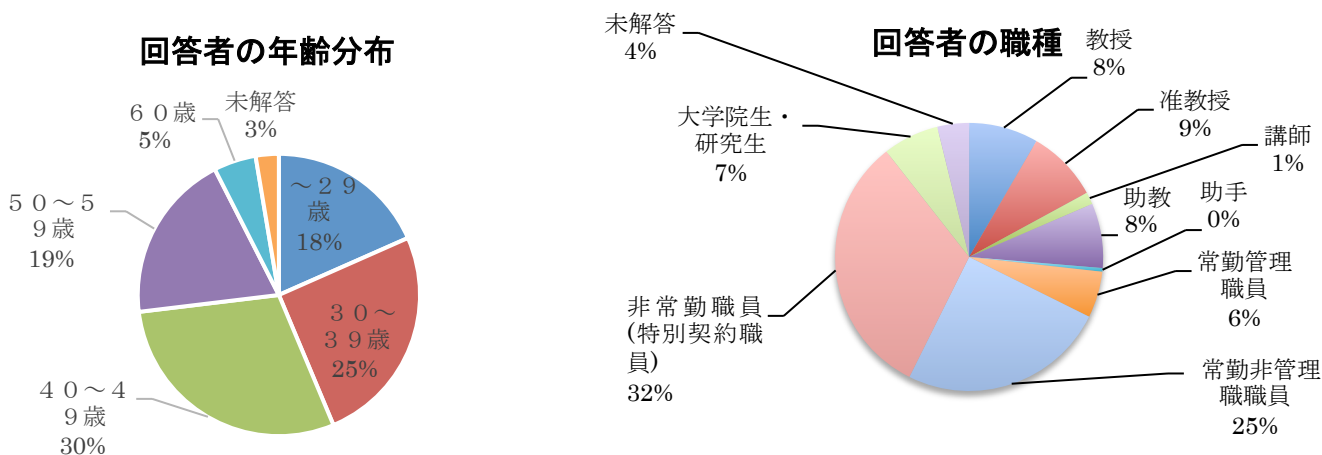
岡山大学ハラスメント防止対策室

岡山大学はハラスメントのない大学を目指して日々努力を続けている。岡山大学ハラスメント防止対策室は本学におけるハラスメントの現状を調査するためにアンケートを定期的実施してきている。今回は、前回の2010年1月実施のアンケート調査に引き続いて、本学の構成メンバーのハラスメントに対する意識や現状を調査することを目的として実施した。本報告書は、そのアンケート調査結果をまとめたものである。

今回の調査では、本学の全教職員に対してアンケート依頼のメールを送信し、Web Class 上にて実施した。なおアンケート依頼は2016年3月7日に行い、アンケートの回答期限は2016年3月28日とした。期間中、669名から回答を得た。集計にあたりプライバシーの保護に留意し、アンケート結果のとりまとめと分析をおこなった。

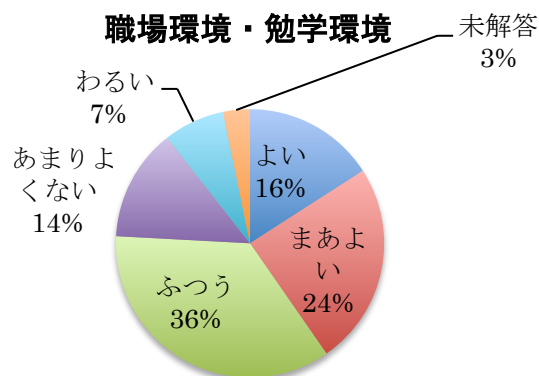
## (1) アンケート回答者について

回答者は男性が42%、女性が53%である。年齢は、30歳から50歳が半数以上となった。また、教員が26%、常勤職員は31%、非常勤職員は32%、大学院生・研究生は7%である。専門分野では、人文科学系が、10%、自然科学系が、21%、医歯薬学系が22%、事務・技術系が40%である。



## (2) 岡山大学での職場環境、勉学環境について

「よい」と「まあよい」をあわせると40%、「ふつう」が36%、「あまりよくない」と「わるい」をあわせると21%であった。大多数が大きな不満はない環境であると言える。しかしながら、「あまりよくない」と「わるい」の合計が、前回2010年のアンケート結果の16%と比較すると、増加しているため、今後、注意していく必要がある。



## (3) 各種ハラスメントについて、その内容の理解について

セクシュアル・ハラスメントについては「知っている」と「ある程度は知っている」とを合わせると93%で、パワー・ハラスメントは97%、マタニティ・ハラスメントは93%であり認識が深まっている。ところが、アカデミック・ハラスメントは、80%で、ジェンダー・ハラスメントは76%であり、認識度が低く、内容が分かりにくいようである。この傾向は、前回のアンケート調査から同じ傾向が認められる。なお、本学においては、平成27年度より、パワー・ハラスメントは、アカデミック・ハラスメントに含めて取り扱っている。

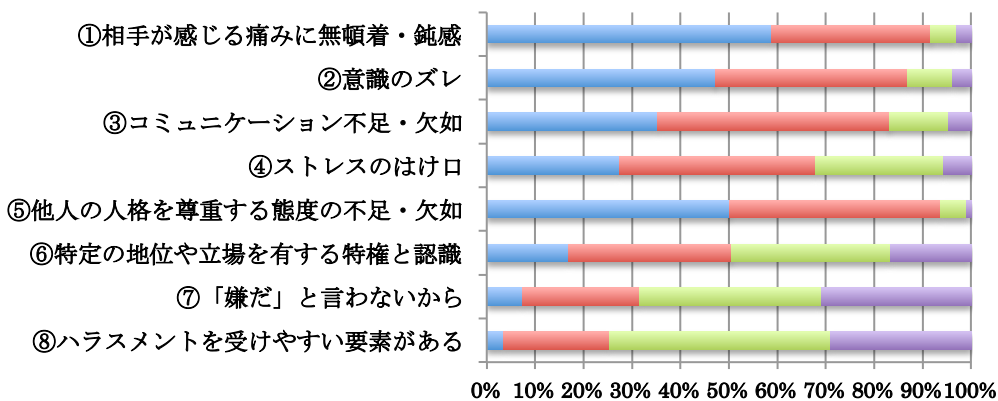
#### (4) 各種ハラスメントについて

ハラスメントについて意見を伺った。ハラスメントを行う側には、他人への人格尊重の欠如や、無頓着・鈍感、意識のずれがあると考える意見が多く、続いて、コミュニケーションの不足が原因と考えられている。ハラスメントを受ける側の要素や、「嫌だと言わない」ことが原因と思う意見もあるが、割合は低い。

- ①ハラスメントは、行う側が相手が感じる痛みは無頓着・鈍感であるから  
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が92%である。
- ②地位や立場によって生じる意識のズレがあるから  
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が87%である。
- ③地位や立場が違う者同士のコミュニケーション不足・欠如から  
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が83%である。
- ④ハラスメントを行う側がストレスのはけ口をもとめているから  
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が68%である。
- ⑤ハラスメントを行う側が他人の人格を尊重する態度の不足・欠如から  
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が94%である。
- ⑥ハラスメントに相当する行為は、特定の地位や立場を有する特権と認識しているから  
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が50%である。
- ⑦ハラスメントを受ける側が「嫌だ」と言わないから  
「そうは思わない」や「どちらかと言えばそうは思わない」が68%である。
- ⑧ハラスメントを受ける側に、ハラスメントを受けやすい要素（例えば、態度・行動・服装）があるから  
「そうは思わない」や「どちらかと言えばそうは思わない」が75%である。

#### ハラスメントについて

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そうは思わない



#### (5) 各種ハラスメントへの対処などについて

半数近くの回答者が身近にハラスメントがあるのではと感じ、また自身がハラスメントにあたる言動をしているのではと感じている。ハラスメントは意思表示のみでは収まらず、ハラスメント問題は当事者間での解決は難しいと多くの回答者が感じている。女性は出産・育児等で不利益を被ると感じられている。

##### ①ハラスメント問題の解決は当事者及びその周囲の者に任せるべき

「そうは思わない」や「どちらかと言えばそうは思わない」が89%であり、当事者間での解決は難しいと思われる。

②女性は男性に比べて出産・育児等で不利益を被ることが多い

「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が81%である。

③立場が上の人の意向には黙って従うことが望ましい

「そうは思わない」や「どちらかといえばそうは思わない」が77%である。

④現在ハラスメントとされるほとんどの行為は人間関係の中で許容範囲にありハラスメント問題は過剰にとりあげられている

「そうは思わない」や「どちらかといえばそうは思わない」が86%である。

⑤女性が男性よりも優位な立場になることは心地よくない

「そうは思わない」や「どちらかといえばそうは思わない」が91%である。

⑥ハラスメント行為を受けた場合、「やめてほしい」という意志表示をすれば、その行為は通常おさまるはずである

「そうは思わない」や「どちらかといえばそうは思わない」が79%である。意思表示以外の手段や方法が必要であると思われる。

⑦自分の身近では、権力を利用したいじめや嫌がらせなどは起きていない

「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が46%である。半数近くの方がハラスメントはあると感じている。

⑧ハラスメントは、受けたという人にもどこか問題がある場合が多い

「そうは思わない」や「どちらかといえばそうは思わない」が76%である。

⑨自分も何かの折にハラスメントにあたる言動をしてしまっているかもしれない

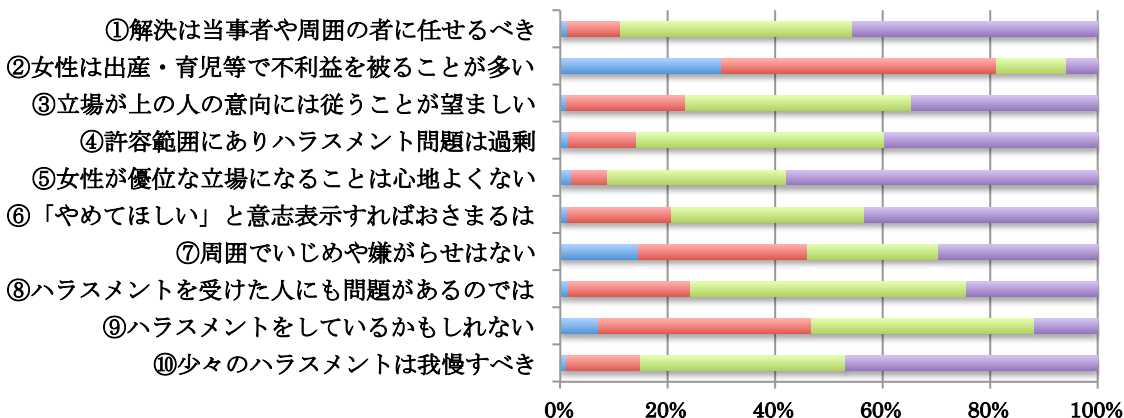
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」が47%である。

⑩雰囲気を壊さないために少々のハラスメントは我慢すべきである

「そうは思わない」や「どちらかといえばそうは思わない」が85%である。

### ハラスメントへの対処

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そうは思わない



### (6) 地位や権力を利用して行われる以下の行為を、ハラスメントと判断するかについて

以下のほとんどの項目について90%以上がハラスメントと判断している。

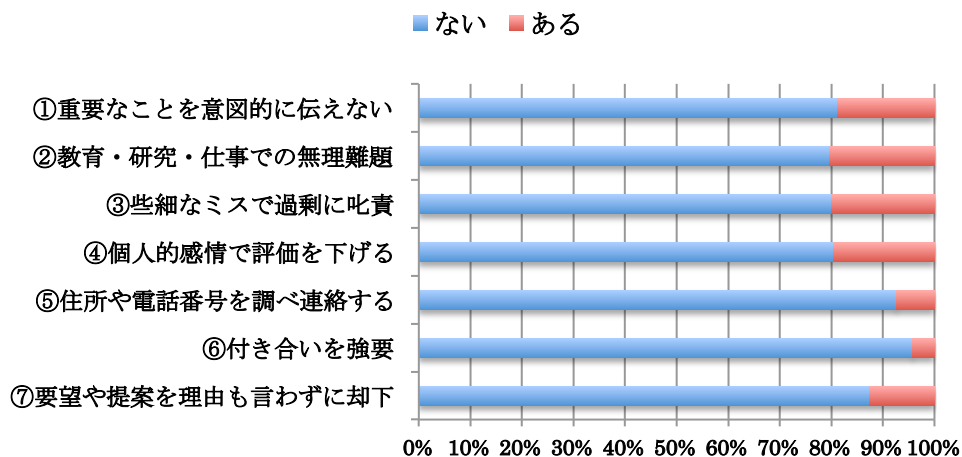
- ①教育・研究・仕事において重要なことを意図的に伝えない
- ②教育・研究・仕事において、無理難題を押しつける
- ③些細なミスにもかかわらず、皆の前で過剰に叱責する
- ④個人的感情を持ち込んで、評価を下げる
- ⑤住所や電話番号を調べ、教育・研究・仕事に関係がないのに、連絡する
- ⑥教育・研究・仕事に関係ない付き合いを強要する
- ⑦要望や提案に対して理由も言わずに却下する

**(7) あなたは、岡山大学で以下の行為を受けた経験がありますか**

(相手は上位2位まで。2位までに集中している。)

- |                                    |          |          |
|------------------------------------|----------|----------|
| ① 教育・研究・仕事において重要なことを意図的に伝えない       | ある 18.7% | 相手：教員，職員 |
| ② 教育・研究・仕事において，無理難題を押しつける          | ある 20.4% | 相手：教員，職員 |
| ③ 些細なミスにもかかわらず，皆の前で過剰に叱責する         | ある 20.0% | 相手：職員，教員 |
| ④ 個人的感情を持ち込んで，評価を下げる               | ある 19.5% | 相手：教員，職員 |
| ⑤ 住所や電話番号を調べ，教育・研究・仕事に関係がないのに，連絡する | ある 7.3%  | 相手：教員，職員 |
| ⑥ 教育・研究・仕事に関係がない付き合いを強要する          | ある 4.2%  | 相手：教員，職員 |
| ⑦ 要望や提案に対して理由も言わずに却下する             | ある 12.6% | 相手：教員，職員 |

**ハラスメントと思われる行為を受けた経験**



**(8) あなたは、岡山大学で以下の行為をした経験がありますか。「ある」と答えた場合，その相手は誰ですか。**

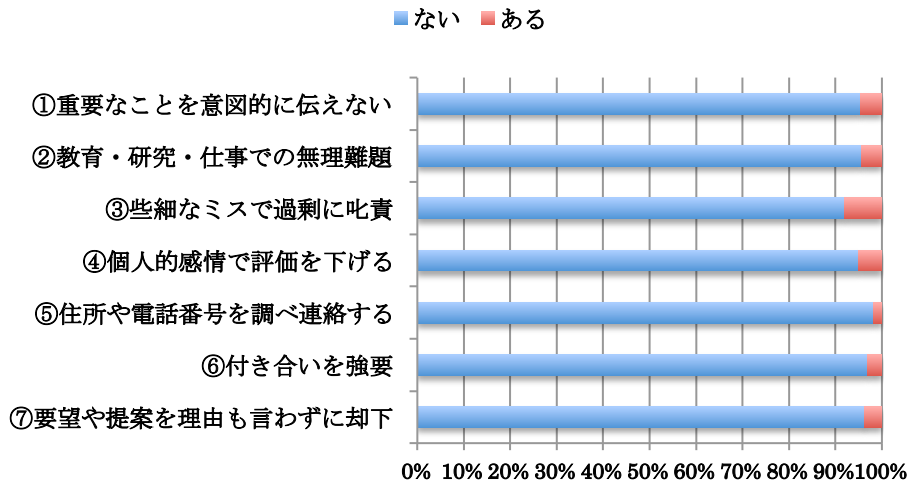
(7)，(8) に関しては前回の調査時より，いずれも割合が上がっている。ハラスメント行為を「受けた」経験は，「した」経験より3倍から5倍程度になり，ハラスメント行為を「した」と気付かない人が多いことになる。

(相手は上位2位まで。2位までに集中している。)

- |                              |         |          |
|------------------------------|---------|----------|
| ① 教育・研究・仕事において重要なことを意図的に伝えない | ある 4.6% | 相手：職員，教員 |
| ② 教育・研究・仕事において，無理難題を押しつける    | ある 4.5% | 相手：教員，職員 |
| ③ 些細なミスにもかかわらず，皆の前で過剰に叱責する   | ある 7.9% | 相手：職員，教員 |
| ④ 個人的感情を持ち込んで，評価を下げる         | ある 5.0% | 相手：職員，教員 |

- ⑤ 住所や電話番号を調べ、教育・研究・仕事に関係がないのに、連絡する ある 1.9% 相手：職員，教員
- ⑥ 教育・研究・仕事に関係がない付き合いを強要する ある 3.0% 相手：職員，教員
- ⑦ 要望や提案に対して理由も言わずに却下する ある 3.7% 相手：教員，職員

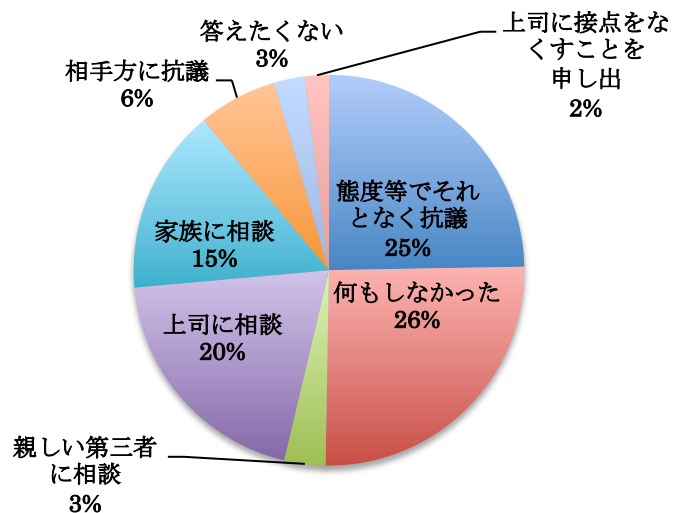
### ハラスメントと思われる行為をした経験



#### (9) あなたは、設問(7)の行為を受けて、どのように対応しましたか。(複数回答)

ハラスメント相当行為を受けて、「特に何もしない」や、「態度でそれとなく示した」が、最も多い回答であり、積極的な対応が取りにくいと思われる。また、上司や家族、学内の相談機関と相談していることが見て取れる。積極的に相手方に抗議している方もいることが分かる。

#### ハラスメント行為への対応

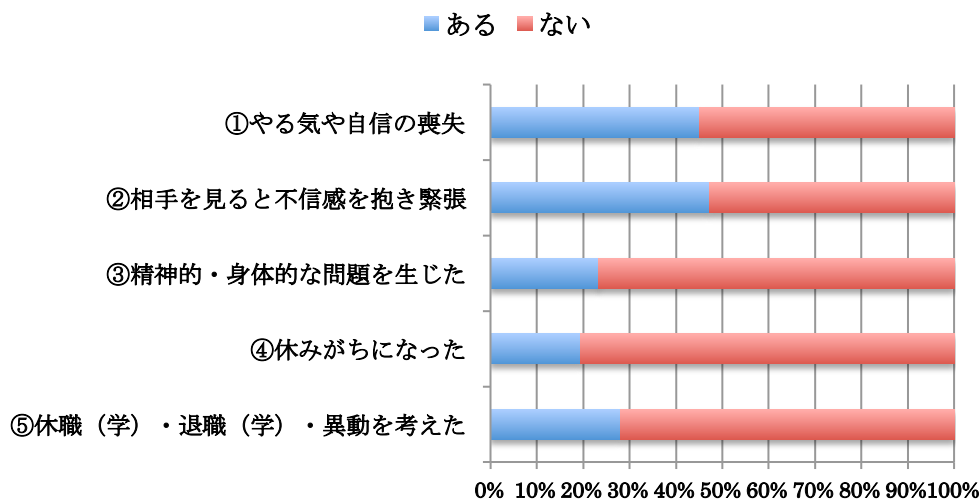


#### (10) あなたは、岡山大学内での人間関係が原因で教育・研究・仕事で以下の不快な経験をしたことがありますか

学内での人間関係が原因となる不快な体験について伺った。前回の調査時より各項目で割合が増えていたのは気になるところである。

- ①勉強・研究・仕事のやる気をなくしたり、自信をなくした 45.0%
- ②相手（加害者）を見ると不信感を抱き緊張するようになった 47.2%
- ③精神的・身体的な問題を生じた（頭痛・不眠・ノイローゼ・自殺念慮等） 23.3%
- ④大学に行くのが嫌になったり怖くなったたりし休みがちになった 19.3%
- ⑤休職（学）・退職（学）・異動を考えた 28.1%

## 人間関係による不快な経験



### (11) 2009年4月に設置された岡山大学の全教職員・全学生を対象としたハラスメント防止対策室について

ハラスメント防止対策の存在や業務内容は、半数以上が認識している。ホームページは、4分の一程度しか閲覧されず、ホームページの存在を知らない方も多数いる現状である。ハラスメント防止対策室の専門相談員や部局相談員を知らない方が、いまだ3-4割程度いることがわかった。このように、ハラスメント相談に関わる仕組みが、いまだ充分には認識されていないと思われる。

#### 1) ハラスメント防止対策室の存在・業務内容について

「知っている」が24%、「ある程度知っている」が35%である。その一方、「あまり知らない」が28%、「知らない」が13%である。半数以上が、存在・業務内容を認識しているが、半数近くの構成員の認識は低い。

#### 2) ハラスメント防止対策室のホームページについて

「見たことがある」が25%で、「見たことがない」が53%である。ホームページの存在を知らないとの回答が22%である。

#### 3) ハラスメント防止対策室の専門相談員について

「知っている」が65%で、「知らない」が34%である。

#### 4) 各部局にいる部局相談員について

「知っている」が57%で、「知らない」が41%である。

#### 5) ハラスメント判断不明でも相談が可能であることについて

「知っている」が45%で、「知らない」が54%である。

## まとめ

自由記述を読んでもみると、どの職場（研究室等）でも、ハラスメント行為を受けたと自覚している人が多い。また自分がハラスメント行為をしたと自覚している人の割合より大幅に多い。個々の訴えについてはここで取り上げることはできないが、コミュニケーション不足の職場が多いことが分かった。職場の風通しを良くするよう特に管理職の方は気を付けるべきだろう。指導的立場の人が「適切な指導」と思っていた行為が、受け手にアカデミック・ハラスメントと受け取られて悩んでいる訴えもあった。これから管理職がアカデミック・ハラスメントにならない「適切な指導法」について学ぶ必要がある。各部局でのハラスメント防止研修会に積極的に参加していただきたい。

相談員やハラスメント防止対策室の相談員に相談すると、秘密が漏れてしまうのではないかと心配が少なからずあった。相談員には守秘義務があるので安心して相談して欲しい。

前回の調査時に比して、社会的にハラスメントに対する認識が高まっており、岡山大学もハラスメント規程を改正し、ハラスメント防止委員会のHPに掲載している。また英語併記の新しいリーフレットも作成し配布している。